



HAKUBA H.S. Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

白馬
高校

令和4年11月16日(第175号)

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも
ご覧ください⇒



10月15日 創立70周年式典

白馬高校創立70周年記念式典をウイング21で執り行いました。コロナ禍により1年順延しての挙行となりましたが、宮澤敏文県会議員をはじめ多くの来賓の皆様にご列席いただき、70年の節目を盛大に祝うことができました。

内川雅夫同窓会長の式辞では、本校のこれまでの歩みと高校生ホテルや断熱改修プロジェクトなど、本校独自の取り組みが紹介され、今の白馬高校があるのは、これまで本校の歴史をともに築いてこられた地域の皆様のおかげと改めて実感しました。

これまで続けてきた歴史・伝統を受け継ぎ、生徒たちが自分の夢の実現のために「挑戦」を続け、白馬高校に新たな歴史を刻んでくれることを期待しています。



10月15日 グローバル講演会



式典に続き、創立70周年を記念したグローバル講演会を開催しました。今回講師としてお招きしたのは、HEAD Japan 株式会社 代表取締役の関口千人さんです。本校のOBでもある関口さんには、「当たり前なことを当たり前にする」をテーマに、外資スポーツメーカー「HEAD」のグループ社員として現在までどのように本社の期待に応えてこられたかについて、ブランディングの観点からお話いただきました。

講演の中では、関口さんのこれまでの経歴や社会人として身につけるべきこと、「ブランド化」についてのお話に加えて、マーケティングマネージャーの久保さんと生徒を交えたロールプレイングを行う場面もあり、「伝える力」の重要性についても教えていただきました。生徒たちは、話し手・聞き手の責任（相手に伝わるようにしっかり伝えなかった、わからないことを聞かなかった）について実感をもって学ぶことができました。



関口さんからは、「白馬高校で学んでいるということは大きなブランドで、将来、自分の武器になる。白馬という恵まれたフィールドで今しかできないことに一生懸命取り組んでほしい」という力強いメッセージをいただきました。以下、生徒の感想です。

「関口さんの前向きな考え方がすごいと思った。自分が幸せになれるようなブランディングをしたいと思った。」

「“白馬”や“スキー部”というブランドだけで有利に働くことがあるかもしれないけど、その前に、土台となる人として当たり前のことをきちんとやるということを心がけて生活していきたいと思いました。」

「周りから信頼されるには、頭の良さではなく礼儀や気遣いなどの人間性が大切だと改めて実感しました。」

「誰にでもチャンスはあるし、可能性は無敵大なんだと感じた講演会でした。自分ももっと将来に向けて色々と考えていかなければいけないと思いました。」

「自分のブランディングをどう作っていくか、どういうものにしていくかをこれからの学校生活の中で考えていくことが楽しみになりました。」

今回の講演会を通して、生徒たちはこれからの学校生活や進路に向けて大きな刺激を受けたようです。生徒には、学校の活動だけでなく、自ら外に飛び出して様々なことに挑戦し、自分をどんどんブランディングして行ってほしいと思います。

11月1日 英語ガイドツアー



国際観光科2年の「観光コミュニケーション英語」の授業の一環で、生徒による英語でのガイドツアーを行いました。ツアーの行き先は、白馬発のオプションツアーの目的地として人気が高い、地獄谷野猿公苑と小布施、善光寺で、ツアー全体の流れおよびガイドの内容はすべて生徒自身が考えたものです。今回のツアーでは、ゲスト役の白馬・小谷村在住の海外出身の方5名に加えて、スキージャパンホリデー所属のガイド Andrew Kelly さんにアドバイザーとしてご協力いただきました。

ガイド中の生徒は緊張する様子も見られず、堂々と英語で説明を行う姿が印象的でした。中には、予定していなかった説明やクイズを即興で行う生徒もあり、ガイド後、生徒に話を聞くと、「自分の英語が伝わったこととゲストの方の反応がよかったことが嬉しくて、その場で考えて話しました」と語りました。また、バスの車中や自由時間中には、生徒からゲストの方に英語で質問したり、一緒に散策したりするなどしてフリートークを楽しむ姿が見られました。以下、生徒の感想です。

「私はこれからガイドになろうとは思っていませんが、今回のガイドツアーでコミュニケーションの取り方や話の回し方、どんな雑談をすればみんなが話せるのかなど、これからの生活で使えるような知識をたくさん学べました。」

「自分の英語が通じ、話をするのができたという事が嬉しく、自信になりました。」

「これからは自分のアイデアややりたいことを他者と共有しながら学んでいく機会が多くなるからこそ、自分で英語の文を作って話せる基礎的な力や他者と何かを作り上げていくための協調性が大切になってくると思った。」

ここで紹介しきれなかったガイドの様子や生徒の感想は本校ホームページの「白馬高の日常」に掲載していますので、ぜひご覧ください。今後も地域の方々と連携し、実際のコミュニケーションを通して、生徒たちが本物の英語に触れ、発信力を身に付けられるような活動を行っていきます。